

蓼葉帶紅秋色催

蓼葉紅れないを帶おび 秋色しゅうしょくを催もよおす

境深泉石不留埃

境深きょうふかくして 泉石埃せんせきぢりを留とどめず

陶然一醉詩思富

陶然とうぜん一醉いつすい 詩思富しじとみ

疎竹牕前雨欲來

疎竹牕そちくそう前ぜん 雨來あめきたらんと欲ほつす

空齋居士